



いしかわ労福協

第 498 号 2009年7月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 上田弘志
 編集人 宮下 亮
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行
 定 価 一部 20円
 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

北陸労働金庫第8回通常総会



ずっと快適な金融サービスを 提供し続けるために



森田新理事長と川淵前理事長

北陸労働金庫第8回通常総会が6月25日(木)、石川県立音楽堂で開催された。

総会は、昨年度からスタートした第3期中期計画に掲げる「ずっと快適な金融サービスを提供し続けるために」の目標を実現すべく、諸課題に全力で取り組んできた経過や融資金利の引き下げやキャンペーンの積極的展開による成果を上げた。

また、厳しい金融経済環境下においてお客様に安心と良質な金融サービスの提供を行う2009年度事業計画を決定した。

そして、新役員体制として、森田則夫理事長、草島安治副理事長、中山光男専務理事、中村栄一・乙見康夫・佐波智則常務理事の新しい体制がスタートした。

総会には代議員275名、臨時代議員1,152名が出席し、議長として石田学理事(トナミ運輸労働組合)と三尾善弘理事(自治労石川県本部)が選出され、開会した。

代表挨拶として、川淵尚志理事長が挨拶し、昨年9月のリーマンブラザーズ破綻を契機とした未曾有の金融危機により、日本景気は一気に急激な減速状態に陥り、勤労者にも賃金や雇用に大きな影響を及ぼしている。そんな中で、当金庫の主な特徴としては住宅ローン「固定金利選択型10年」の金利引き

下げが利用拡大につながり、新規実行額を463億93百万円と大きく伸ばすことができ、融資残高は3884億25百万円と期首比240億85百万円増加することができた。また、自動車ローンや教育ローンの伸びにより、総預金残高も6570億9百万円と期首比78億76百万円増加することができた。当期純利益は5億91百万円と計画を下回ったものの、会員・組合員の皆様の労金運動への積極的な参加のお陰で融資が大きく増加したことは深く感謝すると挨拶した。

< 総 会 議 案 >

- 第1号議案 2008年度(第55期)剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 2009年度事業計画承認の件
- 第3号議案 全国合併(「日本労金」設立)に向けた合併準備委員会への参画承認の件
- 第4号議案 役員選任の件
- 第5号議案 役員退任慰労金の件

以上、5つの全ての議案が可決された。これで、2011年日本労金の設立に向けて具体的な準備が始まることとなる。また、役員選任では森田新理事長のもと、石川県関係の常勤役員では、川淵理事長大村常務理事、梅澤県本部長が退任し、中村常務理事、佐波常務理事、嶋垣県本部長が新任された。

石川県関係の常勤役員



中村栄一常務理事



佐波智則常務理事



嶋垣利春県本部長

北陸労働金庫役員

役 職	氏 名	会 員 名
理 事 長	森田 則夫	連合福井
副 理 事 長	草島 安治	全日通労組富山県支部
専 務 理 事	中山 光男	員 外
常 務 理 事	中村 栄一	JAM北陸大同工業労組
〃	乙見 康夫	員 外
〃	佐波 智則	員 外
理 事	辻 政光	三協立山アルミ労組
〃	上木 雅雄	NTT労組福井県グループ連絡協
〃	湊口 洋伸	NTT労組北陸総支部
〃	浜守 秀樹	パナソニック半導体労組魚津支部
〃	宮崎 浩一	JAM北陸コマツユニオン北陸支部
〃	坂本 治路	TMD労組石川支部
〃	紙屋 敏夫	福井県庁職員組合
〃	鈴木 勝	東洋紡労組つるが支部
〃	岩淵 正明	員 外
〃	柚木 光	石川県教職員組合
〃	石田 学	トナミ運輸労組
〃	小川 和守	福井村田製作所労組
〃	三尾 善弘	自治労石川県本部
〃	宮崎 敏裕	不二越労組
〃	泉 祐二	UIゼンセン同盟小松精練労組
〃	渡辺 大輔	福井県教職員組合
〃	中川 義雄	北陸電力労組富山県支部
代 表 監 事	吉田 啓三	アイシン・エイ・ダブリュ工業労組
監 事	南 高広	北陸鉄道労組
〃	小泉 徳明	富山県教職員組合
〃	清水 和夫	関西電力労組若狭地方本部
常 勤 監 事	山形 俊夫	員 外
富山県本部長	山本 敏夫	富山県職員労組
石川県本部長	嶋垣 利春	北陸鉄道労組
福井県本部長	山口 克家	UIゼンセン同盟セーレン労組

事務局日誌

- <6月>
- 25(木) 北陸労金第8回通常総会 県立音楽堂
- 30(火) 石川労福協第2回理事会 フレンドパーク石川
- <7月>
- 1(水) 連合総研理事会 フレンドパーク石川
- 〃 事務局会議 フレンドパーク石川
- 2(木) 第4回地方労福協会議(～3日) 東京
- 4(土) サポート会員フォローアップ研修 フレンドパーク石川
- 14(火) 緊サポ・ファミサポ連絡会 県庁
- 17(金) 第7回福祉GG大会 実行委員会 フレンドパーク石川
- 21(火) フレンドパーク石川運営委員会 フレンドパーク石川
- 22(水) 第29回ユニトラ協力委員会 フレンドパーク石川
- 23(木) 国内交流 in さいたま(～24日) 埼玉県
- 24(金) 労信協第3回理事会 フレンドパーク石川

第38回石川県勤労者絵画・陶芸展

- 開 催 日** 9月3日(木)～9月6日(日)
午前10時～午後6時
(最終日午後3時まで)
- 会 場** 金沢歌劇座1F 展示室
作品受付は県内8地域にて行います
- 入賞作品展**
- 鶴来会場** パーク獅子吼ふれあい館
9月8日(火)～9月15日(火)
- 寺井会場** 能美市立寺井図書館ギャラリー
9月17日(木)～9月24日(木)
- 珠洲会場** ラポルトすず市民ギャラリー
9月26日(土)～9月30日(水)
- 美川会場** 美川コミュニティプラザ
10月2日(金)～10月7日(水)
- 志賀会場** 志賀町文化ホール 展示室
10月9日(金)～10月15日(木)
- 羽咋会場** 羽咋労働福祉会館 1Fホール
10月20日(火)～10月23日(金)

石川県勤労者文化協会
TEL 076-231-1746

中部会館協平成21年度総会

中部7府県（石川、富山、福井、岐阜、三重、滋賀、京都）で労働会館や保養施設を運営している11会



綿会長が退任挨拶



田村新会長が挨拶

館で構成する中部ブロック労働者福祉会館協議会の「平成21年度総会」が6月18日（木）岐阜市のワークプラザ岐阜で開かれた。

総会では平成20年度事業報告の承認、収支決算報告および平成21年度事業計画、予算を決定した。最後に、役員の一部改選があり、綿征一会長（石川県労福協前常務理事）が退任し、新会長に田村恒夫氏（春日温泉観光開発株式会社「ゆ〜とりあ越中」支配人）、幹事に宮下亮（石川県勤労者福祉文化会館「フレンドパーク石川」常務理事）が就任した。

総会終了後の役職員研修会では、「岐阜市の歴史と見どころ」をテーマに、岐阜市教育委員会社会教育課の内堀信雄氏が2千年前からの岐阜市の歴史上でのポイント、斉藤道三・織田信長が築いた街づくりについて人物伝の形で講演があり、岐阜の歴史に興味をもつ有意義な総会を終えた。

石川労福協第2回理事会

新年度の実質審議が最初となる石川労福協第2回理事会が6月30日（火）フレンドパーク石川で開催された。先の事業団体総会における役員改選により、梅澤副理事長、長田孜理事、川口昭一理事が退任され、後任の理事に嶋垣利春理事（北陸労金）、山口隆理事（北陸労金）、坂本哲治理事（労信協）、天満信夫理事（電機連合）を選任し、互選により副理事長として嶋垣利春理事を選任した。

また、2009年度の福祉基金管理委員会および労福協人事委員会の新委員を選任した。



嶋垣利春副理事長



山口隆理事



坂本哲治理事



天満信夫理事

2009年度福祉基金管理委員会

委員長	上田 弘志	（石川県労福協理事長）
委員	鈴木 義博	（石川県商工労働部労働企画課長）
〃	吉田 歩	（金沢市産業局労働政策課長）
〃	嶋垣 利春	（北陸労働金庫石川県本部長）
〃	本田 和雄	（全労済石川県本部理事長）
〃	才田 巖	（石川県労福協専務理事）
〃	矢嶋 幸雄	（石川県勤労者住宅生活協同組合理事長）
〃	坂本 哲治	（石川県労働者信用基金協会理事長）
〃	横山 和男	（石川県生活協同組合会長理事）
〃	狩山 久弥	（連合石川事務局長）
事務局	宮下 亮	（石川県労福協常務理事）

2009年度労福協人事委員会

委員長	上田 弘志	（理事長）
委員	嶋垣 利春	（副理事長・事業団体）
〃	本田 和雄	（副理事長・事業団体）
〃	才田 巖	（専務理事・事業団体）
〃	狩山 久弥	（理事・労働団体）
〃	高 芳晴	（理事・労働団体）
〃	光林 邦彦	（理事・労働団体）

国際交流への派遣としては、中央労福協主催の「第41次欧州労働者福祉視察団」とILO主催の「2009年度海外労働事情調査団」への派遣を決めた。緊急サポートネットワーク事業としては、ファミサポ移行に向けた取り組み、ライフ・サポートセンター活動としては、ジョブいしかわの体制強化について協議した。また県LSCの新たな活動として①エコキャップ運動、②環境保護・里山ボランティアの取り組みを確認した。

勤体協
主催

ひょっこりのとじま「2009能登島ロードレース」 過去最多1,226名が暑さの中快走!

ひょっこりのとじま「2009 能登島ロードレース大会」は7月5日(日)に開催され、北は秋田から南は沖縄まで1都2府30県から過去最高の1,408名がエントリーし、当日は男女別1,226名の選手がハーフの沿岸周回コース、10Kmの森林田園コースに分かれ、初夏の能登島で健脚を競い合った。

スタート地点の能登島生涯学習総合センターで開会式が行われ、鉛谷義博県商工労働部労働企画課長、三浦光雄七尾市教育長が選手に歓迎と激励の挨拶をした後、地元能登島向田町の山田剛選手が力強く選手宣誓を行った。都合により出席できなかった高宮良貴北國新聞社事業局事業部長、上田弘志労福協理事長からも激励メッセージが寄せられた。審判団からは熱中症対策の給水塩分補給、コース走行上の注意等の説明とお願いがなされた。



能登島大橋無料化を記念して始まったこの大会も回を重ね12回目を数えたことになる。18歳以上の勤労者やOB対象限定の大会は全国的にも珍しい。また、70歳以上の方に授与する技能賞該当者は48名にも達しており、生涯スポーツとしてのランニングが定着愛好されていることを思い知ることができる。

初夏とはいえ、停滞する梅雨前線で必ずしも爽やかなコンディションとはいえないが、当日朝は少し風があったため、昨年よりはやや走りやすい条件となったようだ。しかし、それでも厳しい暑さの中、殆どの選手が風光明媚な能登島の自然を満喫して無事完走することができた点は幸いである。コース内に設置された給水所やシャワー所、ゴール地点では七尾・鹿島、羽咋、輪島、穴水の各ライフ・サポート役員や七尾市職員その他多くの一般ボランティアが、次から次と走ってくる選手たちに冷たい水やドリンクを手渡し元気づけ、能登島地区女性グループの協力を得て振る舞われたレース後の豚汁やおにぎりも選手たちから美味しいと大好評だった。

この大会は、能登島ロードレース実行委員会と北國新聞社が主催、共催は石川県、七尾市、七尾市教育委員会、主管は石川県勤労者体育協会が行い、その他石川県勤労者福祉協議会が後援し、七尾・鹿島、羽咋、輪島、穴水各地域ライフ・サポートセンター、各医療機関、警察署、交通推進隊、能登島地区の多くの市民の協力で成り立っている。

全国的に定着した感のある当大会は、手作りの良さを活かし、選手一人一人に心の温もりを感じてもらえる大会にすべく全力を傾注していく。来年の第13回大会開催に向けて、石川県、七尾市をはじめ関係各位のご指導ご支援をお願いする。

石川県勤労者体育協会事務局長 中野 俊一



各部で優勝した選手たち

記 録

- ▽1部 (10*男子・18~49歳) ① 山堀逸寛(滋賀) 33分42秒 ②本間貴幸(白山) ③甲田秀樹(中能登) ④松本崇志(輪島) ⑤岡田実(同) ⑥土倉良吉(七尾)
- ▽2部 (10*女子・18~49歳) ① 石川靖代(三重) 38分50秒 ②安川沙弥香(野々市) ③佐野亜弓(三重) ④中田愛(白山) ⑤内田美紀子(富山) ⑥虎谷友江(かほく)
- ▽3部 (10*男子・50歳以上) ① 水谷秀二(三重) 37分13秒 ②中島博(長野) ③三浦裕(金沢) ④松山和能(津幡) ⑤久利須隆(金沢) ⑥北川憲治(愛知)
- ▽4部 (10*女子・50歳以上) ① 前沢京子(富山) 43分39秒 ②高田明美(野々市) ③新谷ひとみ(金沢) ④篠本典子(神奈川) ⑤山岸博子(長野)
- ▽5部 (ハーフ男子・18~49歳) ① 山下富孝子(野々市) ②庄司雄太(富山) 1時間16分4秒 ③中田武宏(金沢) ④水上覚(金沢) ⑤安藤金三郎(同) ⑥猪股勇(山梨)
- ▽6部 (ハーフ女子・18~49歳) ① 水野美里(野々市) 1時間37分55秒 ②山崎真由美(金沢) ③佐野千恵美(小松) ④金子有希(富山) ⑤今江七夕美(滋賀) ⑥羽場幸江(長野)
- ▽7部 (ハーフ男子・50歳以上) ① 堂前昭三(中能登) 1時間21分0秒 ②足立正登(愛知) ③大湊泰夫(東京) ④山口幸三(京知) ⑤山本秀男(兵庫) ⑥品吉治(長野)
- ▽8部 (ハーフ女子・50歳以上) ① 吉田詩子(白山) 1時間37分55秒 ②武者俊子(神奈川) ③杉本弘子(勝山) ④山本利枝(金沢) ⑤西裕子(同) ⑥瀬戸明美(野々市)

